

令和2年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第七小学校 第5学年

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語に関する基本的な知識・技能(漢字・読解)を定着させること。 <p><思考力・判断力・表現力></p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことを明確にして文章を書かせること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞かれていること、分かっていることなどに色分けをして線を引きながら文章を読む活動を行う。 ・既習の漢字を用いた文章作りや自主学習を活用して定着を目指す。 ・学習の中で、文型を示し、当てはめて文章を書く練習を繰り返し行い、表現の仕方に慣れる。また、作文帳の宿題を通して、「書くこと」への抵抗感を減らす。 	
社会	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図や写真、グラフや写真などから、情報を適切に調べまとめ、社会的事象の意味を捉えさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや表の読み取り方について、繰り返し指導する。 ・国語や総合の学習など他教科でもグラフや表を扱い、資料の読み取る練習を繰り返し行う。 	
算数	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・速さや割合について理解し、該当する数量を求めさせたりグラフに表させたりすること。 <p><思考力・判断力・表現力></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形を構成する要素や図形の関係に着目し、図形の性質について考察させること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単量と基準量の関係が明確になるように、児童が数直線や表を作成し、2つの量の関係に着目できるようにする。 ・平面図形の作図、立体図形の展開図の活用により、辺・頂点、面などの構成要素の関係を具体的につかめるようにして、対応の関係や合同について考えさせるようにする。 	
理科	<p><思考力・判断力・表現力></p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想や仮説を基に、解決方法をよそうさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予想を立てるときの視点を明確にし、自分の生活経験も踏まえながら考えさせる。 ・どのような要因で起きている事象なのかを調べるために、どのような条件を制御したらよいかなど、視点を明確にして考えさせる。 ・問題解決学習の手順を指導する。 	
総合	<p><思考力・判断力・表現力></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べた情報を整理・分析し、大切なことや自分の伝えたいことを取捨選択してまとめさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの情報を丸写しにして調べ学習を終えないように、本やインタビューなど多様な取材方法ができるようにする。 ・自分の言葉でまとめ、表現できるように、簡単な言葉に直したり、文章を削ったりして書くなど、書き方について指導する。 ・多様な方法で表現できるよう、紙媒体以外にプレゼンテーションソフトなど情報機器を活用できるようにする。 	
音楽	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の意味や内容を理解して豊かに表現させること。 ・「音の重なり」や「和声の響き」を感じ取り、演奏の仕方を工夫させること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容を説明し、曲想を感じ取りそれを表現できるようにする。 ・グループアンサンブル、クラス合奏などの活動を通して、響きや音のバランスを意識させる。 	
図画工作	<p>(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が豊かなイメージをもち、自身をもって表現させること。 ・試行錯誤しながら、粘り強く取り組ませること。 <p>(主体的に学びに向かう力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思い切った表現ができるような授業づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参考作品の数を増やし、完成のイメージを具体的にもたせる。 ・導入でアイデアを発表し、アイデアが浮かばない子供は友達の発想を参考にしてもよいことにする。 ・プレッシャーがかからないように、言葉掛けに注意を払う。 	
家庭	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・裁縫や調理など、日常生活に必要な基礎的な技能を定着させること。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの課題を解決するために、実践方法を考えさせたり、友達に伝え合わせたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習と連携を図り、裁縫や調理の仕方について保護者の支援を得ながら、学校と双方で協力して学習を進めていくようにする。 ・グループ学習を積極的に取り入れ、裁縫や調理の仕方について、友達同士で互いに教え合う時間を設ける。 	
体育	<p><思考力・判断力・表現力></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動について、動きや技のポイント、自分の課題を見付けさせること。 <p><学びに向かう力、人間性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の心身の健康への関心を高めさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでの活動を積極的に設定し、互いに動きや技の様子を見合い、アドバイスをし合うようにする。また、課題別に場を変えるなどの場の設定を工夫する。 ・体育の時間を通して様々な運動に親しめるようにし、体を動かす機会を増やす。また、怪我や事故について、授業前に必ず確認し、安全に気を付け取り組ませるようにする。 	
外国語活動	<p><思考・判断・表現></p> <p><学びに向かう力、人間性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近で簡単な事柄について、積極的に外国語を用いて話したり聞いたりさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュカードやチャンツを活用し、英単語や会話文を何度も発音させることで、英語で話すことへの抵抗感を少なくする。また、「間違ってもいい。とりあえず声に出してみる」といった楽しい雰囲気づくりを心掛ける。 ・会話文の型を板書したり、例文を板書するなど、参考例を多く提示するようにする。 	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもち、表現させること。 ・多様な考えに触れ、ねらいとする価値について自分の考えを深めさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートなどを活用し、自分の考えをもち、書く時間十分確保する。 ・道徳的価値を自分のこととして考えられるような発問を用意する。 ・ペアやグループで話し合う場面を多くし、多様な考えに触れられるようにする。 	